



ほりかね道

狭山市立堀兼中学校便り
令和7年度10月号
発行者 和田雅士

10月の堀中生の人間性を磨く行動目標

「心を傷つける言葉を遣わない」(TP0に応じた言葉遣い)

たかがあいさつ、されどあいさつ

ようやく暑さがやわらく気配を感じる時季となりました。9月末には天候不順のためイレギュラーな日程で新人戦の市予選が行われたところです。生徒のご家族の皆様におかれましては、会場で熱い声援を送っていただきありがとうございました。夏休み中に発報された熱中症警戒アラートの回数の多さに反比例して少ない練習量で、十分な準備ができない中での大会でしたが、競技に対して生徒たちは本当に真剣な眼差しとひたむきさで挑んでいました。リスペクトします。

大会中、私も各試合会場を巡回しましたが、ある食堂で昼食をとった時のことです。注文したランチを食べ終えて、お茶のおかわりをたのみ、お茶を給仕してくれた店員が、「もしかして〇〇先生ですか？」と声をかけてきました。その店員の顔を見て、すぐに、以前教諭時代に勤めていた学校の卒業生であることを思い出しました。在学時代は、私が顧問をしていたバレー部の在籍で、元気で明るい子の印象があったのもあり、名前もすぐにできました。それから数分の短い時間でしたが、中学生だった教え子がもう2児の母となり子育てに奮闘していることなど、互いの近況など会話が弾みました。「教員あるある」の一場面でしたが、帰り際に「声をかけてくれてありがとう」という言葉をその教え子に向けて自然に口にしました。卒業してから20年以上たっても、先生だとわかればあいさつしてくれることに教師冥利に尽きる喜びを感じ、感謝する気持ちとなった感覚です。

教え子が、長い年月が過ぎた後でも、在学時に関わりのあった人にあいさつできる大人になっていることに、自分の教職という仕事に誇りを感じました。

世の中には、あらゆる分野に「評価」があります。生徒にとっては学習の達成状況の評価が一例です。大人の世界、企業やそこで働く人にも会社の収益や労働者の業績などに対する評価があります。SWOT分析、ロジックツリー分析、コンピテンシーフレームワークなどなど、主観に頼らないフレームワークの中で評価を行っている企業や官庁もあるようですが、特に生産性を求める企業にとっては、わかりやすい評価指標は、数値目標となるのでしょうか。

では、教育や子育てはどうでしょうか。確かに教育の世界にも数値はあります。テストの得点、部活動の大会の順位、成長曲線、学校評価アンケートの数値など。しかし、どの数値もその生徒や学校の一面的な評価であり、全人格を評価するものではありません。又、中学生の時の数値評価は固定的ではなく、流動的な可能性を秘めているとも言えます(つまり、卒業後にその数値が上がるかもしれないし、下がるかもしれないということです)。例えば、中学生の時には苦手だった理科の内容が、生活体験を経て大人になって、自分の子どもの教科書の同じ単元を読んでみたとき、中学生に時に分からなかった定理が理解できたということはないですか。

少々、脱線しましたが、教育や子育てには数値による評価もありますが、生産性が優先される場ではないので、数値では測れない成長の評価があると思います。その一つが、少々大げさな言い方かも知れませんが、子どもたちのその後の「生き様」だと思っています。これは教育する側、子育てする側に対する評価でもあるように思います。視点を変えると、教育や子育ての成果やその評価は、即時性のあるものではなく、長い年月をかけて、でも着実に現れるものだと考えます。

私たち中学校の教職員が一人の生徒と関われるのは、たかだか3年です。3年間で、その生徒のその後の「生き様」にどれくらい影響を与えているのか、生徒のご家族のそれに比べたら微々たるものかも知れませんが、先に紹介した私の教え子との偶然の再会時、小さな一場面ですが、笑顔で私に声をかけてくれた気持ちと行動は、人との関わり方やマナー、人生で自分に関わった人を大切にすること、そして社会の中で互いに気持ちよく暮らす術を色々な場面で教えてきた中学校教員としての仕事の評価の現れと信じています。

堀中生の活躍

【9.10 市長表敬訪問】

学校だよりで紹介のとおり、1年生の〇〇〇〇さんが、将棋で全国大会に出場し、ベスト16に入る活躍があったことの報告を市長に報告しました。とても誇らしいことです。

新人戦県大会水泳の部 50M平泳ぎ 決勝進出

他の種目より一足早く行われた新人戦の水泳競技で本校2年生の〇〇〇〇さんが、50M 平泳ぎで見事県大会の決勝まで進みました。天候不良のため決勝のレースは中止となりましたが、全体の9位のタイムでした。頑張りました！次に向けてまたチャレンジしてください。

10月の生活目標

- 〇1日〇〇時間勉強しよう
- 〇悔いなく戦力で練習・応援
- 〇心を傷つける言葉を遣わない

【9.16 狭山市中学校英語暗唱弁論大会】*敬称略

2年 暗唱の部 〇〇〇〇 “The Three Dolls”

3年 暗唱の部 〇〇〇〇 “Malala’s Voice for
the Future”

弁論の部 〇〇〇〇

“A Silent Cry from Children”

☆2年生の〇〇さんが2年暗唱の部で2位入賞となりました。おめでとうございます。

体育祭ご来場の際のお願い

- 〇入場者は学校関係者のみ(来賓、保護者、家族、兄弟姉妹、本校卒業生、地域の敬老会、堀小・新小現6年生とその保護者)としています。
- 〇ご来場の際は、公共交通機関、自転車または徒歩でご来校ください。自家用車でのご来校はお控えください。